

On-Line 授業公開



2020 年 7 月 13 日(月) 10 時 30 分～12 時 00 分

「メンタリングの理論と実践」(担当:辻延浩・白石牧恵・畑稔彦)

■授業の概要

※本科目は教育実践力開発コース科目です。

メンタリング (mentoring) とは人材育成手法の一つであり、メンター(mentor) と称される経験豊かな熟練者が、組織内の若年者や未熟練者と定期的・継続的に交流し、対話や助言によって自発的な成長を支援する行為です。本講義では、前半において教員養成・研修におけるメンタリングの目的と意義、概念と効果に関する理論を学びました。また、中盤においては、勤務校におけるこれまでのメンタリング場面を想起し、手応えのあった事例と逆に悩んでいる事例を交流し合い、理論と実践の融合を図ってきました。

公開授業では、フィールドワークⅠ（①メンターとしてメンティの要望や悩みに触れる、②メンティに寄り添い関係の基礎を作る。③メンタリングの方策を探る）とフィールドワークⅡ（①メンターの変容について行動観察をもとにして考察する。②メンティとの関係づくりについて自己分析する。③メンタリングの方策の効果と今後の展望について考察する）をもとに、若手教員に対するメンタリングの手法と効果について実践交流し、その可能性と課題について、TEAMS を用いてグループ討議します。

■授業の目標

【現職教員学生】メンタリング理論と実習・研修を想定したメンタリングの仕方、学部新卒生や初任者等を対象としたメンタリングの内容と方法、効果の検証の仕方を理解し、勤務校での実践に活用することができる。（高度な教育実践力）

〈本時の目標〉

- メンタリングの効果が可視化できる資料を作成し、エビデンスに基づいた意見交流ができる。
- これからの実習や自己の実践につながるメンタリングの知識及び技能を習得することができる。

【学部新卒学生】教員養成・研修におけるメンタリングの目的および意義を理解し、メンティとしての心構えや準備を確立することができる。（自己省察力、確かな教育実践力）

〈本時の目標〉

- メンターによる学級経営ならびに学習指導を参与観察し、自己の実践に取り入れたり、参考にしたりしたい事例を紹介し、意見交流ができる。
- これからの実習や自己の実践につながるメンティとしての知識及び技能、態度を養うことができる。

連絡先：岸本 実 (minoruk@edu.shiga-u.ac.jp)

今回の授業公開は TEAMS による双方向型授業で実施します（本学教育学部・教育学研究科の教員・学生に公開）。登録が必要となるため、ご参加を希望される方は【7 月 9 日】までに、メールで岸本までご連絡ください。